

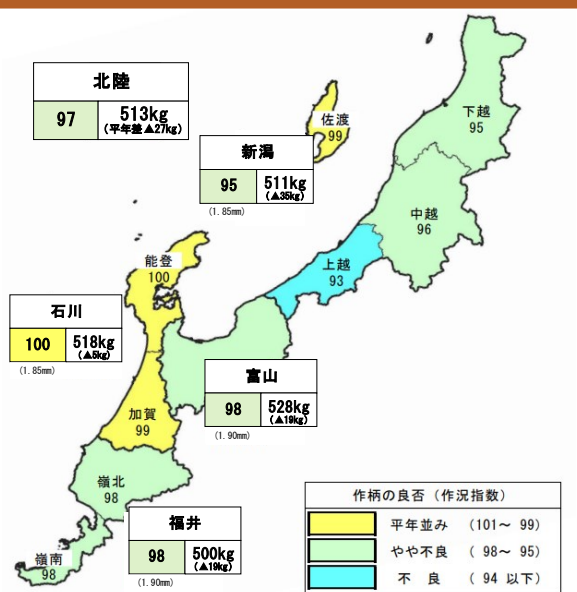
米に関するマンスリーレポート（北陸版） （令和5年12月号）

特集 令和5年産水稻の収穫量（北陸）－ 収穫量（主食用）は89万4,000 t －

【調査結果の概要】

- 1 北陸における令和5年産水稻の作付面積（子実用）は19万7,700ha（前年産に比べ500ha減少）となった。うち主食用作付面積は17万4,000ha（前年産に比べ500ha増加）となった。
- 2 水稻（北陸）の10a当たり収量は513kg（平年に比べ27kg減少）となった。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は101万5,000 t（前年産に比べ5万7,000 t 減少）となった。このうち、主食用の収穫量は89万4,000 t（前年産に比べ4万4,800 t 減少）となった。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は97となる見込み。

【10a当たり収量（1.7mmふるい目幅ベース）と作況指数】



注：1 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

【水稻の年次別推移（北陸）】

年産	作付面積 (青刈り面積を含む) ha	子実用 ha	10a当たり 収量 (1.70mm) kg	収穫量 (子実用) t	主食用 作付面積 ha	収穫量 (主食用) t	作況指 数
平成30	212,700	205,600	533	1,096,000	184,800	985,300	98
令和元	212,800	206,500	540	1,115,000	186,400	1,007,000	101
2	212,300	206,400	550	1,135,000	185,900	1,021,000	102
3	211,500	201,800	531	1,072,000	177,900	944,600	97
4	209,900	198,200	541	1,072,000	173,500	938,800	100
5	208,300	197,700	513	1,015,000	174,000	894,000	97
対前年差	▲1,600	▲500	▲28	▲57,000	500	▲44,800	▲3
新潟県	120,400	115,800	511	591,700	100,600	514,100	95
富山県	37,800	35,200	528	185,900	31,200	164,700	98
石川県	24,600	23,400	518	121,200	20,800	107,700	100
福井県	25,500	23,300	500	116,500	21,500	107,500	98

【令和5年産の水田における北陸農政局管内の作付状況】

県	年産	主食用米	(ha)											
			加工用米	新規需要米					戦略作物等					備蓄米
				飼料用米	WCS 粗飼料用	福発餅 粗飼料用	米粉用米	新市場 開拓用米 (新田出用米等)	その他	麦	大豆	飼料作物	そば	
新潟	4年産	99,900	7,627	4,578	433	2,285	1,513	1	125	3,907	289	792	-	4,558
	5年産	100,600	7,039	4,032	533	1,784	1,586	-	189	3,996	294	834	-	4,559
	増減	700 (0.7%)	▲534	▲546	101	▲500	73	▲0	65	89	5	42	0	1
富山	4年産	31,300	1,166	2,149	457	249	363	-	3,047	3,751	303	225	13	2,393
	5年産	31,200	1,220	2,096	480	266	342	-	2,834	4,165	329	250	22	2,202
	増減	▲100 (▲0.3%)	54	▲32	23	16	▲21	0	▲213	414	26	25	9	▲191
石川	4年産	20,700	448	1,767	109	378	43	-	1,017	977	25	164	-	1,488
	5年産	20,800	481	1,131	127	371	65	-	1,198	981	27	141	-	1,629
	増減	100 (0.5%)	33	▲636	19	▲7	23	0	181	5	1	▲23	0	141
福井	4年産	21,600	273	2,078	121	192	141	-	5,023	108	45	476	-	1,257
	5年産	21,500	322	1,976	160	213	132	-	5,210	76	43	480	-	1,218
	増減	▲100 (▲0.5%)	48	▲103	39	21	▲8	0	186	▲33	▲2	4	0	▲40

令和6年度農林水産予算の概要（前年度から3億円増額）

詳細は農林水産省HP「概算決定の概要」をクリック または右記の二次元コードからご覧ください



←もっと詳細な情報をご覧になりたい方は農林水産省HPへ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

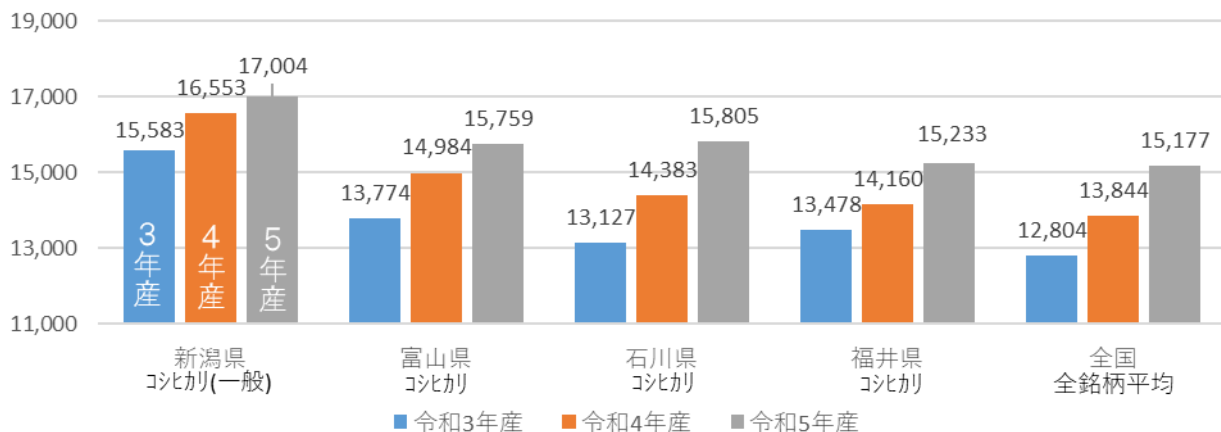
もっと北陸の情報をご覧になりたい方は北陸農政局HPへ
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/>



1 米の相対取引価格

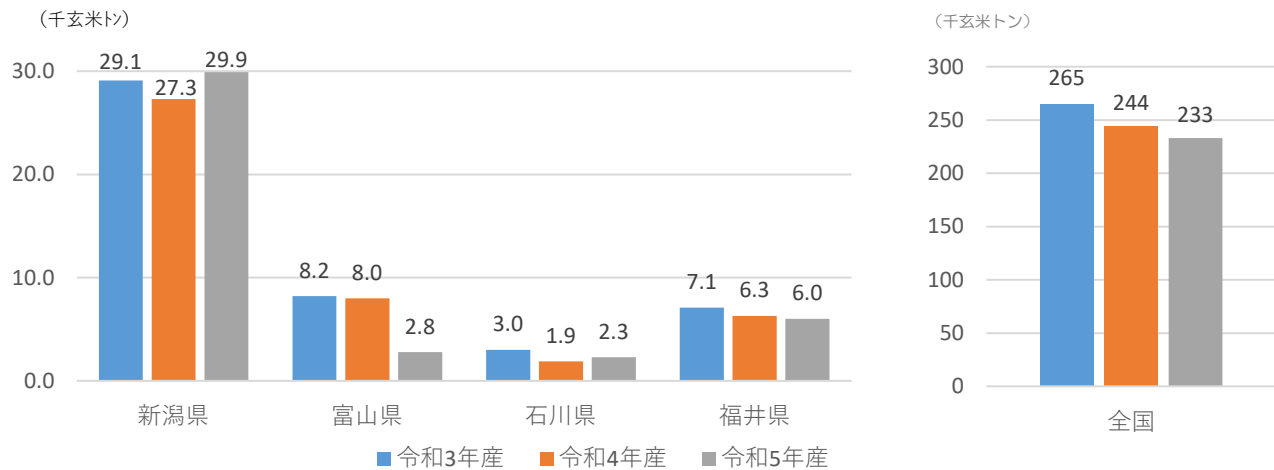
令和3年産及び、令和4年産は出荷日から翌年10月まで、
 令和5年産は出荷日から令和5年10月までの平均価格

（円/60玄米kg税込）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

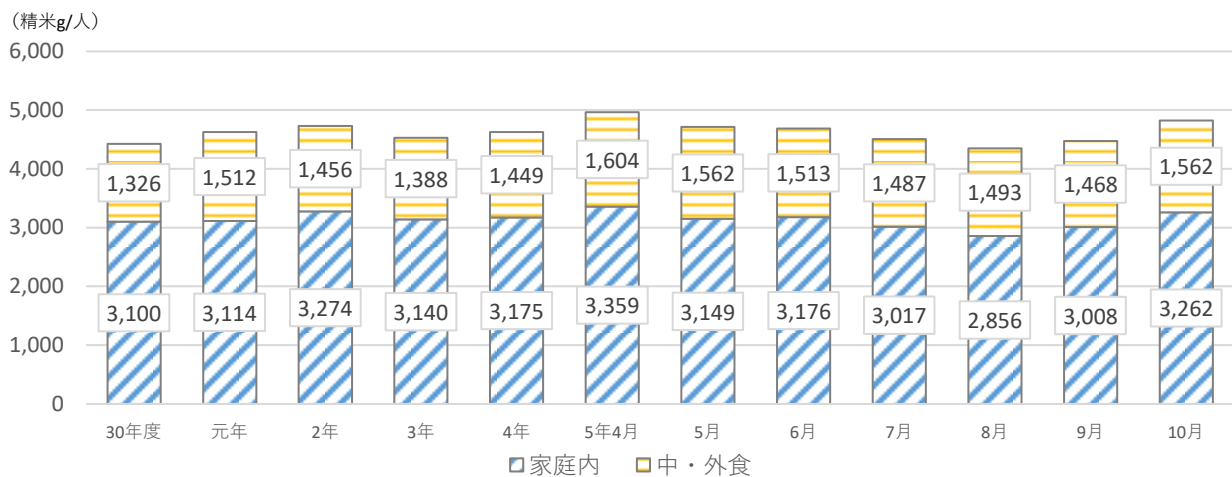
2 米の産地別販売状況（10月末現在）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
 2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
 3 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

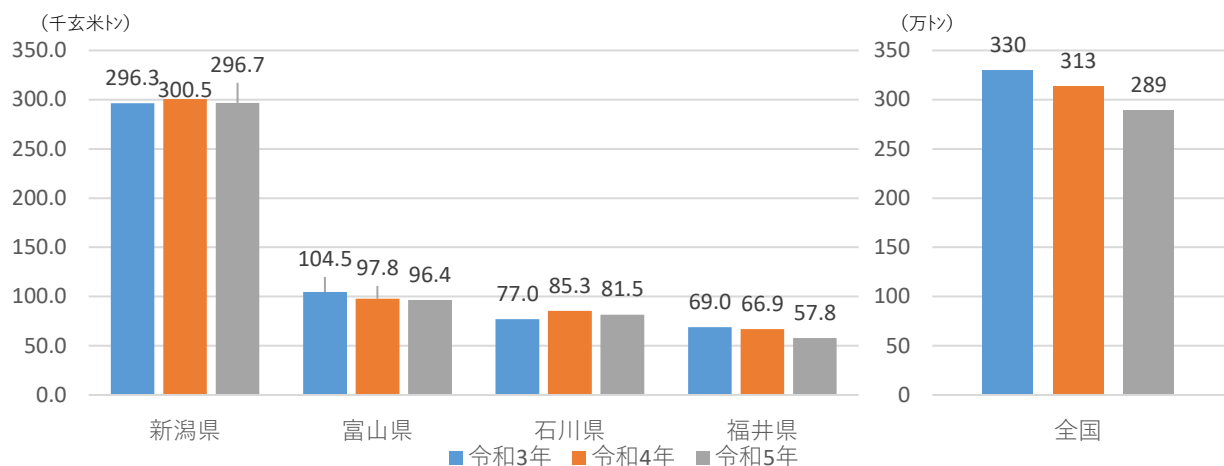
3 米の1人1ヵ月当たり精米消費量（米穀機構による調査）



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

- 注：1 令和5年10月分の有効調査世帯数は1,856世帯。
 2 平成30～令和4年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。
 3 調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。
 4 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。
 5 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成30～令和3年度はH27国勢調査、令和4・5年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 産地別民間在庫の推移（10月末現在）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。